

原集落「集落営農ビジョン」  
 (人材確保型支援・規模拡大・発展型支援)

※該当する支援メニューに○を記入  
 作成日：令和 5 年 3 月 23 日  
 修正日： 年 月 日

市町村名	湯梨浜町	組織名	湯梨浜町原営農生産組合
1 地区の範囲 湯梨浜町 原地区			
2 地区の概要			
水田面積 14.18ha		主な水田栽培作目 水稻、飼料用米	農家数 56戸
認定農業者数 1経営体		人・農地プランの中心となる経営体数 2経営体	
3 組織の概要			
設立時期 (規約等の制定日) 平成 26 年 3 月 6 日		経営面積 11.54ha	構成農家数 13戸
組織形態 (該当形態に○を記入) ・共同利用型 ・作業受託型 <u>協業経営型</u>			
役員の数・年齢 8人 (平均年齢 64歳)			
オペレーターの数・年齢 2人 (平均年齢 66歳)			
その他集落営農活動に参画している人数・年齢 5人 (平均年齢 69歳)			
4 集落営農に対する基本方針			
【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】			
<p>(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標                  ※考え方 (担い手をどう育成し確保していくか。農地賃借、機械の共同利用、作業受委託、生産の組織化などについて。)</p> <p>農村が抱える課題である農業従事者の高齢化、後継者不足等は原地区においても深刻化している。さらに、個々の農業者が農業機械を整備・更新すると負担が大きくなり、個人で農地を維持することが困難となると、たちまち耕作放棄地の発生が危惧される。こうしたことから、平成 26 年に地域の農地は自分たちで守ることを目的として、湯梨浜町原営農生産組合 (以下、「組合」という。) を組織し、主に原地区の耕作が出来ない農業者の農地の耕作を行うこととしている。                  水田集積面積は令和 5 年度現在 11.54ha であり、目標年度においても現状の面積を維持し、地域農業の維持を図る。</p>			
<p>(2) 水田の作付計画 (水稻以外の作物を含む)、活用方針・具体策                  ※考え方 (今後伸ばしていく作物は何か。団地化・ブロックローテーション。作物の品質向上。)</p> <p>排水対策が効きにくい圃場が多いことから、水稻経営を基幹とし、主食用米の品質向上と飼料用米の増収による収益アップを目指す。                  ○適期収穫による品質向上                  栽培品種については地域内で連携しながら決定し、中生品種の「きぬむすめ」を中</p>			

心に、早生の「ひとめぼれ」、「星空舞」、飼料用米の日本晴を計画的に作付けする。これにより収穫作業の分散化が図られ、適期収穫による主食用米の品質向上を図る。

○水管理の適切化による品質向上と増収  
主食用米の品質向上と飼料用米の収量アップには水管理も重要である。畔塗機を導入することで圃場の水持ちが良くなり、水管理の作業負担が軽減する。これにより、適期適切な管理が実施可能となる。

(3) 農業用機械施設の効率利用

※考え方(省力・低コスト化に向け、機械・施設をどのように有効利用していくか。今後整備が必要なもの、JAが整備している施設をどのようにするか。)

組合として、集落内の農業者の生産コスト低減等を図るため、農業機械の個別導入をできる限り回避し、徐々に必要な機械類を組合で整備している。

現在、畔塗り作業は主に業者委託しているが、畔塗機を導入することで生産コスト低減を図るとともに、畔塗り作業の適期実施によって水管理の適正化を図り、主食用米の品質向上と飼料用米の増収に取り組む。

(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針

※考え方(新たな人材をどのように確保し、どのような方法で育成していくか。)

当該組織は13名の組合員で構成されているが、高齢化が進んでおり、今後組織の機能を維持するために、定年退職者を中心に勧誘を進めることとしている。

また、若手の構成員とベテランの構成員が一度に作業(田植えやトラクター等)を行うようにしており、経験やノウハウを次世代に伝承している。

(5) 経営多角化の方針・具体策

※考え方(どのような手法で多角化を図るか。新規作物の導入、販路拡大に向けた自主的な取組みなどについて。)

水稻経営を基幹とし、きぬむすめを中心に近年は星空舞の作付けにも取り組んでおり、新たな品種を導入しながら品質の良い米の生産に努める。

【人材確保型支援は記入必須】

5 人材確保のための取組方針

【項目】		【実施年度】		
		○年度	○年度	○年度
人材 育成 研修	実務研修			
	免許取得			
	その他			
集落営農活動への参画				

【人材確保型支援(うち畦畔管理省力化支援)は記入必須】

6 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所:

施工対象面積（畦畔実面積）： ha  
 本田（=水張）面積： ha

年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度
1年目				
2年目				
3年目				

注1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

(機械利用対象畦畔面積 ha、本田(=水張)面積 ha)

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内容	現状 (年度)	事業実施後 (年度)
取組対象(予定)面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間 作業時間		

注1) 取組対象圃場について記載すること。  
 2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

【規模拡大・発展型支援は記入必須】

7 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標

【項目】		【現状】	【目標】	令和6年度
農地 の 集積	集積面積 A	11.54ha	11.54ha	11.54ha
	対象水田面積 B	14.18ha	14.18ha	14.18ha
	集積率 A/B	81.4%	81.4%	81.4%
	地区外集積面積 C	0ha	0ha	0ha
	経営面積 A+C	11.54ha	11.54ha	11.54ha
経営の多角化への取組				

注1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。

8 農業用機械施設の整備方針  
1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による 導入機械に○
畔塗機	6~15(分/100m)	1	900,000	R5.5	○ (鳥取県集落営農体制強化支援事業、R5)

9 添付資料

- 人材確保型支援は研修計画一覧（参考様式）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。
- 規模拡大・発展型支援は集積状況一覧（別表1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。

注1) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。

2) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。